

概要版の趣旨

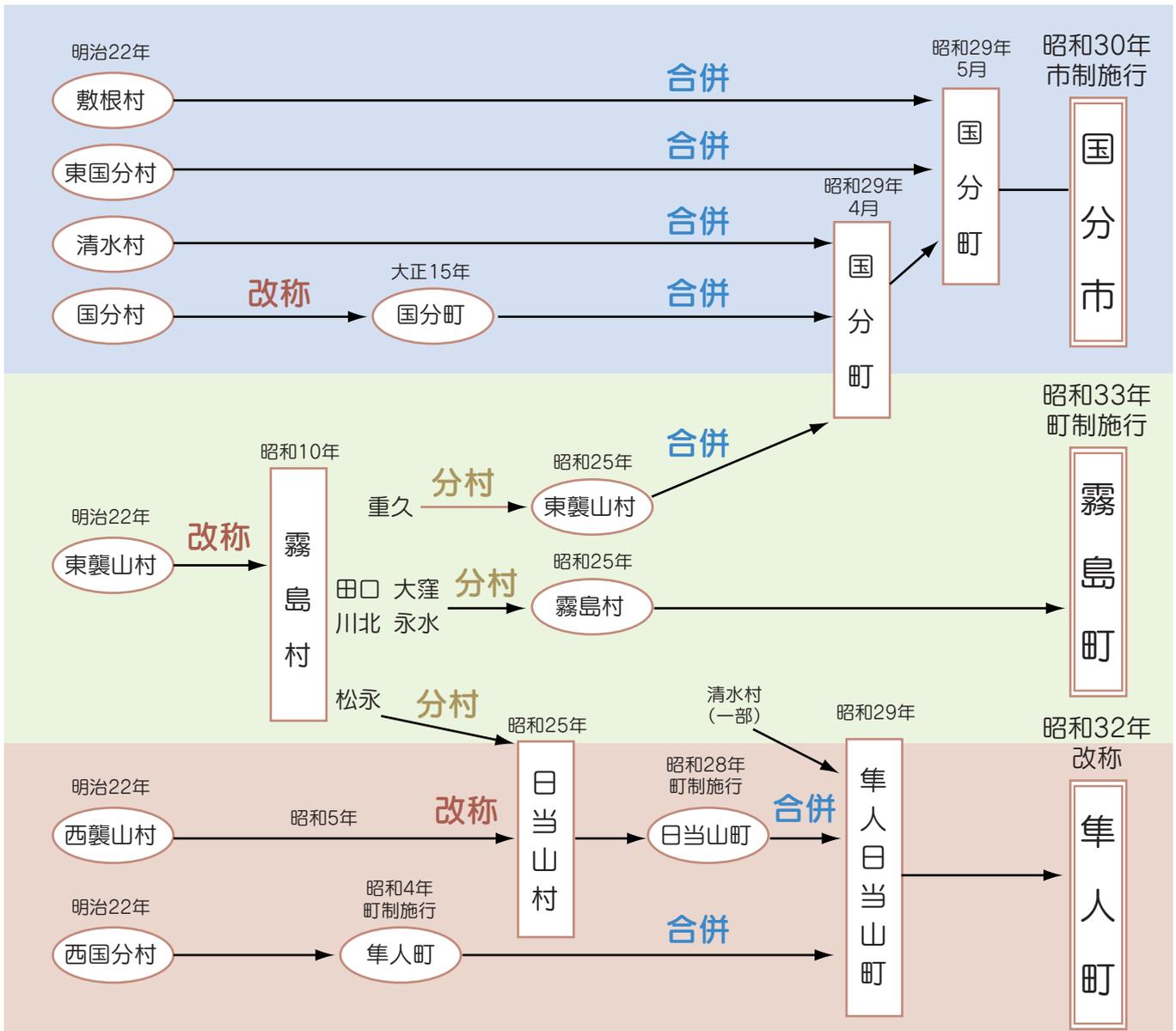
この冊子は、1市6町の合併を想定した場合の、新市の基本理念や将来像、財政計画などについて取りまとめたものです。

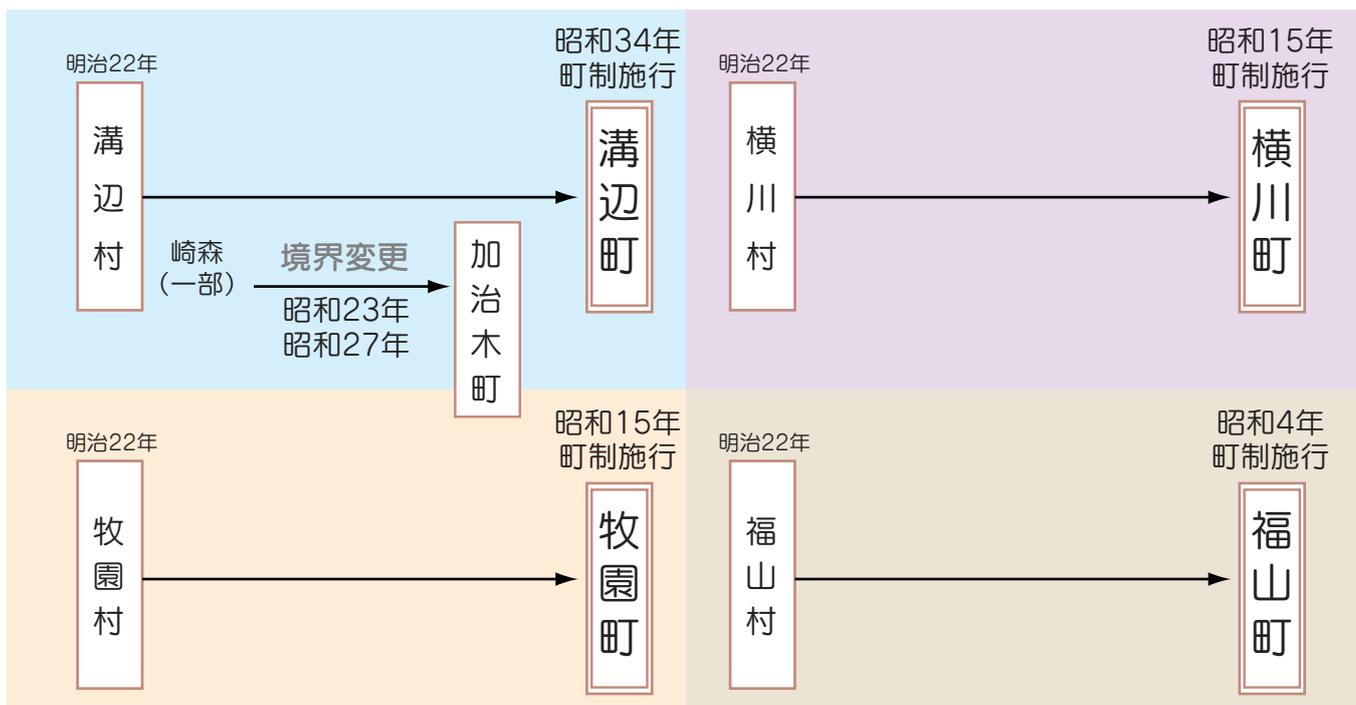
合併協議会では、平成17年2月を合併の目標に定め、現在、さまざまな協議を進めるとともに、新市まちづくりの指針となる新市まちづくり計画の策定に取り組んでいます。策定にあたっては、これまで、住民の代表である「まちづくりフォーラム」の方々からいただきました提言、まちづくりアンケートによる要望を十分に取入れた計画とするよう心がけて作業を進めてきました。この度、その原案がまとまりましたので、概要版という形で皆様にお届けいたします。なお、本計画は合併後概ね10年間を期間として定めるものです。

この冊子を1市6町の合併の適否を判断するための参考としていただきたいと思います。

地域の将来について皆様も一緒に考えてみましょう。

1 市6町の歴史





地域の特性

新市の面積は、603.67km²で霧島山系から裾野、平野部を経て錦江湾まで流れる清く豊かな天降川、その流域に広がる豊かな田園、そして山麓から平野部まで温泉群等を有しており、海、山、川、田園など多彩で豊かな地域です。

1市6町は、次のような地域特性を持っています。

- 1 鹿児島県のほぼ中央にあって、陸・海・空の交通体系が整った南九州の交通の要衝になっています。
- 2 地域特性を活かした農産物、農産加工品、特産品が豊富にあります。
- 3 企業・大学が立地しており、さらに誘致できる地理的条件に恵まれています。
- 4 自然及び歴史的資産、観光資源が豊富であり、個性のある地域の文化が息づいています。

